

癌化学療法レジメン登録書

レジメン名	RAM+PTX
対象疾患	治癒切除不能な進行・再発胃癌
1クールの日数	28日
目標コース数	可能な限り継続

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	サイラムザ	RAM	8	mg/kg	div	下記参照	d1,15
2	タキソール	PTX	80	mg/m ²	div	1時間	d1,8,15
3							
4							
5							
6							
補足	サイラムザの投与時間は初回投与時60分で行う。忍容性が良好であれば、2回目以降30分で投与可能。						

催吐リスク	軽度
前投薬	デカドロン注6.6mg、ファモチジン注20mg、ポララミン注5mg
減量規定	サイラムザ：高血圧（Grade2/3以上）…降圧剤による治療を行い、血圧コントロールでできるようになるまで休薬。蛋白尿量（2～3g/日）…2g未満になるまで休薬。再開時6mg/kgに減量。2回目以降の発現時は5mg/kgへ減量。 タキソール：血液毒性（Grade4）、非血液毒性（Grade3）発現した場合、次回より10mg/m ² 減量。60mg/m ² 未満までの減量に至る場合は投与中止。
主な副作用	悪心・嘔吐、食欲不振、骨髄抑制、倦怠感、下痢、高血圧、出血、尿蛋白陽性、消化管穿孔、血栓塞栓症、創傷治癒遅延、Infusion reaction、末梢神経障害、脱毛、浮腫、関節痛・筋肉痛
参考文献	適正使用ガイド（サイラムザ、タキソール） 制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会）
その他	サイラムザ：生理食塩液で希釈し全量が250mLになるように調製。投与速度25mg/分を超えないこと。Infusion reactionの発現確認のため最初の2サイクルは60分の観察期間を設ける（※発現なければ3サイクル以降は省略可）。 サイラムザ、タキソール：インラインフィルター使用

投与スケジュール

Day (1,15)			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL 1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液50mL ファモチジン注20mg ポララミン注5mg デカドロン注6.6mg 1日1回	1本 1本 1本 1本	15分
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL サイラムザ注 インラインフィルター使用 投与速度25mg/分を超えないこと 全量250mLになるように調製 1日1回	1本 8mg/kg	初回60分 2回目以降30分
4	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL タキソール注 サイラムザ注投与後1時間空けて投与※最初の2サイクル インラインフィルター使用 1日1回	1本 80mg/m ²	1時間

Day (8)			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL 1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液50mL ファモチジン注20mg ポララミン注5mg デカドロン注6.6mg 1日1回	1本 1本 1本 1本	15分
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液250mL タキソール注 投与前30分空ける 1日1回	1本 80mg/m ²	1時間

インラインフィルター使用